

科目名		設計製図課題演習			
担当教員		石井孝典/佐藤静/熊谷貴子/仁多見透/野本優		実務授業の有無	○
対象学科	一級建築士専攻科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	240
授業概要、目的、授業の進め方	2級建築士の設計製図試験に対応した建築計画と作図技術の習得を目的とする。 ・設計条件等をしっかりと読み解く能力を習得する。 ・制限時間内に図面を書き上げる製図能力を習得する。 ・エスキースでミスのないプランニング能力を習得する。 ・表現力豊かな図面の作成能力を習得する。				
学習目標 (到達目標)	5時間で2級建築士設計製図試験の課題が完了し、合格できることを目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル配布資料				
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	作図技術の確認			線の引き方、各種居室及び水回り（居間、夫婦寝室、子供室、食事室、家事室、浴室、洗面脱衣室、便所など）の形状・単位を習得する。	
2	作図手順の確認			平面図、立面図、床伏図、断面図、部分詳細図作図手順をおぼえる。又、表現力を養うため線の太さでメリハリのある作図を意識する。	
3	エスキース手順の確認と演習			エスキースの手順を確認し、課題に対しエスキースと作図訓練を行う。	
4	演習課題と添削			レベル1程度の演習課題とその添削。 時間内での作図完成意識を持つ。（各図面での時間配分を把握すること）	
5	演習課題と添削			レベル2程度の演習課題とその添削。 時間配分と図面の密度を意識すること。	
6	模擬課題・本番モード			本番レベルの模擬試験とその添削。 全てにおいて合格基準を満たすことを意識すること。	
7	実践模擬試験			本番以上のレベルの模擬試験とその添削。 難問な課題にも対応できる能力を習得する。	
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
平常点	課題	模擬試験	小テスト	約2か月半という短期間での対策授業です。 以下のことを守ってください。 ・先生の指導するマニュアルに従ってください。 ・毎日集中して受講してください。 ・作図スピードと表現力に重点を置いた訓練を行ってください。 ・学校だけでなく自宅での訓練も必ず行ってください。	
%	40 %	60 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		石井 孝典：一級建築士として、建築物の設計、工事管理について、15年間携わってきた。 佐藤 静：一級建築士として、住宅設計に10年携わってきた。 熊谷 貴子：設計業務、インテリアコーディネーターとして8年実務に携わる。 野本 優：住宅に関する調査・設計に12年携わっている。 仁多見 透：一級建築士、一級建築施工管理技士として16年間建築施工管理に携わる。			